

JOEM-フォーカスセミナーシリーズ(5)

時間分解分光で探る 希土類錯体の発光ダイナミクスと有機 EL への展望

《日 時》 2025 年 8 月 29 日 (金) 17 時 00 分～18 時 30 分 (日本時間)
9 時 00 分～10 時 30 分 (イギリス時間)

座長 九州大学 安達 千波矢

《会 場》 Zoom を利用したオンライン研究会

《プログラム》

17 : 00～18 : 00 時間分解分光で探る希土類錯体の発光ダイナミクスと有機 EL への展望

18 : 00～18 : 30 ケンブリッジの様子など

要項 : 三価希土類錯体は高色純度発光を示すことから、EL 素子への応用が期待されている。EL 素子効率化には、素子環境における発光機構解明が必要であるが、アモルファス環境中で生じる多段階の発光過程を個別で観測するのは難しい。本研究では、発光層環境であるホスト-ゲスト薄膜に着目し、時間分解分光法を用いてホスト分子励起後からゲスト分子である Eu(III)錯体が発光するまでの過程を詳細に解析し、高効率エネルギー移動機構を明らかにした。

本講演では、薄膜中での機構に加え、Eu(III)錯体の溶液中における時間分解分光解析を通じて明らかとなった発光ダイナミクスの新たな知見を紹介する。

Cambridge 大学 宮崎 栞 先生

参加費 : 会員は参加費・講演要旨代は無料です。(正会員は 2 名まで無料)

会員以外は参加費として 3,000 円を申し受けます。(学生は無料)

参加登録 : http://www.organic-electronics.or.jp/guide/guide_new.htm 内参加登録フォーム
もしくは↓の QR コードよりご登録ください。



参加登録・登録の変更は、招待メール発信の関係から 8 月 22 日 (金) までをお願いします。

※締切り期日を過ぎてからの参加申し込みは、テキストを配信できない場合がございますのでご注意ください。

一般社団法人有機エレクトロニクス材料研究会

JOEM: The Japanese Research Association for Organic Electronics Materials